

埼玉版 F E M A の新たな取組として、危機管理防災部は「**埼玉県防災人材育成指針**」を定めて計画的かつ体系的に**防災人材**の育成を推進し、県全体の災害対応力の強化を図る。

1 現状と課題

- ・**災害**が激甚化、頻発化するとともに様々な**危機事案**が発生している。
- ・職員ごとに知識や経験に差があり、災害対応を**自分事**と捉える意識や**対応能力**の不足
- ・埼玉版 F E M A の**シナリオ**や**プロトコール**を浸透させる仕組みがない。



令和元年東日本台風による被害（埼玉県撮影）



令和6年能登半島地震による被害(埼玉県撮影)

2 目指すべき防災人材像

- ・防災人材像は、「埼玉版 F E M A の**シナリオ**や**プロトコール**を活用しながら、危機や災害を**自分事**としてとらえ、ワンチームの**防災魂**で県民の命と生活を守りぬく職員」
- 防災魂で県民の命と生活を守りぬく職員**

3 防災人材育成の内容

■習得すべき能力

1 災害想像力

➤危機や災害の種類、特徴、被害等をイメージできる

2 災害準備力

➤災害への準備や心構え、自分事化ができている

3 業務遂行力

➤指示に基づき関係者と調整し、個別業務を遂行できる

4 組織運営力

➤幹部の補佐や部下を統率し、組織マネジメントできる

5 意思決定力

➤状況判断し、組織全体の戦略的な意思決定ができる

■役割別実施

- ・**幹部職員**（部長等）、**基幹職員**（班長等）、**一般職員**、**市町村**、**その他防災関係機関**の役割別に実施

■育成方法

- ・育成は**職場研修**、**外部研修**（防災スペシャリスト研修等）、**外部派遣**（内閣府防災や政策研究大学院大学等）、**視察調査**、**実災害対応等**により図る。
- ・職場研修は、O J T のほか講義型や体験型、図上訓練や実動訓練等で行い、対面、オンライン、動画配信など多様な方式で実施

■育成計画

- ・毎年度、**防災人材育成プログラム**を策定して、3年計画で実施

■習熟度評価

- ・研修成果を評価するため、**アンケート**や**習熟度評価等**を実施

